

オンライン・フォーラム

「地域からのSDGs

—私たちの暮らしにとってSDGsとは」

『SDGs—危機の時代の羅針盤』発刊に寄せて

2021年3月24日(水)

13時30分～16時30分

開催方法：オンライン配信 (Zoom)

主 催：智頭町、鳥取大学地域価値創造研究教育機構

協 力：(公財)とっとり県民活動活性化センター、

とっとりSDGs推進会議、(一社)SDGs市民社会ネットワーク

智頭ノ森ノ学ビ舎、(同)MANABIYA

後 援：環境省中国四国地方環境事務所

問合せ：seayanak@icloud.com (家中)



申込みQRコード

Googleフォームのリンクです。(https://bit.ly/3pOAJIW)
こちらよりお申し込みの上、参加情報をお受け取りください。

13:30～

開会挨拶：金児英夫／智頭町長

藪田千登世／鳥取大学理事（地域連携担当）・副学長、鳥取大学地域価値創造研究教育機構長

趣旨説明：家中茂／鳥取大学地域学部特任教授

「いまなぜSDGsか？」13:40～

◇『SDGs—危機の時代の羅針盤』で伝えたいこと—発刊の意図

稲場雅紀／一般社団法人SDGs 市民社会ネットワーク

南博／広報外交担当日本政府代表・大使

「地域からのSDGs—智頭町での取り組み」14:10～

【セッション1】生業・生活統合型多世代共創コミュニティモデル：「TAMARIBA」にて 14:10～

◇「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」の目指すもの

山本進／智頭町山村再生課長

國岡将平／合同会社 MANABIYA 代表・智頭町地域林政アドバイザー

◇「健康とくらしの調査」と介護保険計画策定を通じた中山間地域らしい福祉の実現へ

芦谷健吾／智頭町福祉課副主幹

國岡将平／合同会社 MANABIYA 代表・智頭町生活支援コーディネーター

【セッション2】地域循環共生圏「糶の降るまち」の「まちやど」構想：「楽之」にて 14:35～

竹内麻紀（楽之）・渡邊麻里子（タルマーリー）・小林利佳（PLUS CASA）・村尾朋子（明日の家）

／智頭やどり木協議会

【セッション3】いのち生まれ育まれる郷づくり：「いのちね」にて 14:45～

西村早栄子／NPO法人 智頭の森こそだち舎 代表

岡野真規代／一般社団法人 女性と子どものサポートセンターいのちね 代表

【語り合い】「智頭の暮らしの未来を描くこととSDGs」

「地域からのSDGs—広がりをもった取り組み」15:25～

◇研究教育を通じたSDGsへの貢献

—鳥取大学・戦略3「人口希薄化地域における地域創生を目指した実践型教育研究の新展開」から

清水克彦／鳥取大学地域価値創造研究教育機構教授・副機構長

◇中間支援組織のSDGsにおける役割と鳥取県における取り組み

毛利葉／公益財団法人とっとり県民活動活性化センター常務理事・事務局長

◇なぜ今、「田舎で」SDGsか？—「ローカルSDGs＝地域循環共生圏」から地域の未来を考える

上田健二／環境省中国四国地方環境事務所長

◇地域学と地域共創実学教育

村田周祐／鳥取大学地域学部教授

【全体語り合い】「地域からのSDGs—私たちの暮らしにとってSDGsとは」

閉会挨拶：細井由彦／鳥取大学理事（企画・評価、ダイバーシティ推進担当）・副学長

本の情報

書名 SDGs—危機の時代の羅針盤
 著書 南博・稲場雅紀
 出版社 岩波書店
 出版年 2020.11


<https://www.iwanami.co.jp/smp/book/b528717.html>

参加無料

参加方法

このフォーラムは、オンライン会議システム「Zoom」を使用したオンラインでの開催になります。パソコンやスマートフォンでZoomをダウンロードし、チラシ表面のQRコードまたはURLよりお申し込みの上、ご参加ください。

*後日、録画配信も予定しています。